

九州運輸局メールマガジン 平成25年6月6日 第217号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（5月30日～6月5日掲載分）
 - ・報道発表
 - ・お知らせ
 - ・各種情報
 - ・各種手続き
- 2 現場レポート
 - ・地域公共交通セミナーを開催
 - ・オートポリス スーパー2&4レース2013 観戦記
- 3 国土交通省からの公共交通に関する情報
- 4 公共交通に係る意見募集について

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報
（5月30日～6月5日掲載分）

----- 報道発表 -----

九州の外国人入国者数の推移について(1～3月分)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0531-kokusai.pdf>

台湾の旅行会社を招請し、南九州の魅力をPRします！

九州の観光列車もPR！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0603-kokusai.pdf>

インドネシア「KokoroNoTomo」番組制作スタッフを招請し、九州観光の魅力をPR！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0605-kokusai.pdf>

----- お知らせ -----

平成25年度 整備管理者選任前研修の開催について（日程追記）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2013-0531-1127.pdf>

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

物品・役務入札公示（6月5日公示分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

企画競争に係る実施結果の公表（更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_250530.pdf

《九州統計情報》

自動車登録・整備関連（自動車保有車両数 更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/syaryousuu.htm>

自動車登録・整備関連（新規登録自動車数 更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/shinkitouroku.htm>

自動車登録・整備関連（燃料別等自動車保有台数 更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/nenryoubetsu.htm>

----- 各種手続き -----

《海技試験制度・合格発表》

海技免状等の国家試験（後述試験の日割り 7月分更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/hiwari_2507.pdf

2 現場レポート

地域公共交通セミナーを開催

平成25年5月9日(木)ANA クラウンプラザホテル長崎グラバーヒルにおいて、「平成25年度地域公共交通セミナー」を開催しました。

長崎県では、少子化・人口流出に伴う人口減少や高齢化の進行等により「地域の住民の足の確保」が喫緊の課題となっているため、新しく「コミュニティバス」や「予約型の乗合タクシー」等の地域のニーズにあった最適な交通手段の導入が必要となっています。

国土交通省では、地域に最適な新しい交通機関を導入するため資金面、事業面で支援する「地域公共交通確保維持改善事業」を推進しています。

九州運輸局長崎運輸支局においては、この制度を活用して新しい交通機関を普及させることを目的として、地方自治体の交通担当の方々を対象に、公共交通に関する基調講演、制度の概要、地域での取り組み事例等、新交通機関の導入のためのノウハウや情報の提供を行うため、本セミナーを開催しました。

本セミナーでは、基調講演として西南学院大学の福田先生から、「離島航路の現状と改善事例、陸上交通との連携について」、九州運輸局鈴木交通企画課長から、地域内フィーダー系統を中心に「地域公共交通確保維持改善事業」の説明、長崎市都市計画課赤倉係長様から、「長崎市琴海地区におけるデマンド交通の導入について」と題して、地域公共交通活性化の事例をご紹介いただきました。

参加者は、県内21市町の交通担当者、バス事業者、旅客船事業者約50名で、参加者からは、「長崎県は、離島が多いので離島航路の基調講演は、陸上交通との連携の大切さや必要性が理解でき、大変よかった。デマンド交通について制度が理解ができた。今後の地域公共交通に大いに役立つ」等の感想も寄せられました。

長崎運輸支局としては、今後も地域公共交通の活性化に向けて、セミナー等を開催していきたいと思っております。

【九州運輸局長崎運輸支局】

当日の様子は次のURLからご覧いただけます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_217_1.pdf

オートポリス スーパー2 & 4 レース2013 観戦記

九州運輸局が所掌する観光行政の一つに「スポーツ観光」があることをご存じでしょうか。

これは、スポーツを通じて新しい旅行の魅力を創り出し、我が国の多種多様な地域の観光資源を顕在化させ、国内観光・訪日旅行を活性化させようというものですが、この中の一つにモータースポーツがあります。

モータースポーツと言えばやはり4輪のトップカテゴリーの「F1世界選手権」や二輪のトップカテゴリーの「モトGP」が有名ですが、日本にも独自のカテゴリーの4輪レース、2輪レースがあります。

この二つを同時に楽しめるイベントが、去る6月1～2日、大分県日田市に位置する国際格式のサーキット「オートポリス」で開催されました。

4輪レースは、日本におけるフォーミュラカーの頂点として3,400CC、V型8気筒のエンジンを積む車両で争われる「全日本選手権スーパーフォーミュラ」の第2戦が、また2輪レースは国内最高峰クラスである排気量1,000CCの「JSB1000」と参加台数が最も多い(今回は39台のエントリー)600CCのバイクによる「ST600」が「全日本ロードレース選手権」の第3戦として開催され、最高にエキサイティングなレースが繰り広げられました。

このレースの開催に先立ち、4月24日には元F1ドライバーの中嶋悟氏が当局を表敬訪問され(メルマガ213号で紹介)自らのスーパーフォーミュラチーム「中嶋レーシング」の今期的好調ぶりをアピールされましたが、予選は、参加19台中10番手、14番手とふるわず、決勝ではなんと2台ともリタイアしてしまうという残念な結果でした。

優勝は、雨の中すばらしい早さと強さを見せつけたチームトムストヨタのアンドレ・ロッター選手(独)でした。

また、2輪レースのJSB1000ではカワサキ、ヤマハ、ホンダの有力チームのトップライダーが周回毎に一位を争う三つ巴の大バトルを展開し、大いに観客を魅了していました。

優勝は北九州出身の中須賀 克行(ヤマハ)が飾りました。

と、紙に書いてしまうとそれまでですが、やっぱりレースは現場で見て下さい。現場の迫力を初めて体験する方は、想像を絶すると思います。

日本の、いや世界のトップドライバー、ライダーが繰り広げる、華麗かつスリリングで白熱した

超高速バトルに酔いしれること間違いなし。

ストレートから飛び込む第1コーナーでは後輪を流しながらフルバンクに持ち込むバイク、コーナー毎に車体を触れさせんばかりに牽制し、ぎりぎりまでブレーキを我慢、ラインをクロスさせながら抜きつ抜かれつのフォーミュラカー、本当に興奮ものです。

また、その排気音やサーキット独特のオイルの焼ける臭いもメカ好きにはたまりません。さらに、ピットやパドックを歩けば、各チームのレースクイーンが目を覆いたくなるようなコスチュームであっちにこっちにと・・・。

残念ながら今回は雨模様の2日間でしたが、イベント会場には子どもから女性まで楽しめる催し物やグルメも用意され、来場された皆さんは一樣に満面の笑みで日常からかけ離れた休日を満喫されていました。

本当にサーキットは楽しい！！

次回、オートポリスで開催されるビッグイベントは、9月7～8日の「アジアンモーターサイクルフェスタ2013」という2輪レースです。

また、10月には国内で一番人気の4輪レース「スーパーGT」第7戦が、更に11月にはこれも4輪レースの「スーパー耐久シリーズ」第7戦が開催されます。

国内に6カ所しかない国際格式のサーキットの一つが九州のど真ん中にあるのですから、足を運ばない手はありません。

是非オートポリスのホームページをチェックし、家族や友達と一緒に非日常を堪能して下さい。きっとはまりますよ。

【総務部 総務課】

当日の白熱したバトルの様子は次のURLからご覧いただけます。

(画像提供：モータースポーツ観光推進協議会)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_217_2.pdf

オートポリスのホームページは以下のURLからどうぞ。

<http://www.autopolis.jp/>

3 国土交通省からの公共交通に関する情報

国土交通省公共交通政策部交通計画課から発信された公共交通に関する情報を下記のURLからご覧になることができます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_217_3.pdf

<コンテンツ>

地域公共交通確保維持改善事業に係る制度拡充等について

(公共交通政策部)

「萌え」で地域交通の活性化！～沿岸バスの事例～

(北海道運輸局)

NPO再生塾と協働で人材育成研修を開催しました

(近畿運輸局)

『バスの乗り方教室』を開催しています

(沖縄バス株式会社)

編集後記

4 公共交通に係る意見募集について

・九州運輸局では公共交通全般について、幅広くご意見を募集いたします。

(対象はメールマガジンの内容に限りません)

・頂いたご意見のうち、当運輸局において政策提言に当たると考えられたものは、国土交通省総合政策局公共交通政策部に報告いたします。

・以下のメールアドレスまで電子メールにてお寄せ下さい。

(添付ファイルは、なるべく避けて頂きますと幸いです。)

送付先

九州運輸局企画観光部交通企画課 qst-kikaku@qst.mlit.go.jp

//////// 編集部より //

本日は6月6日です。

世の中には、多くの記念日がありますが、6月6日にもあります。

有名どころでは、芸事はこの日から始めると上達すると言われているため、各関係団体が「楽器の日」、「邦楽の日」、「いけばなの日」などを制定されているそうです。

他にも、「飲み水の日」、「梅の日」、「ロールケーキの日」、「ワイパーの日」、「補聴器の日」、「ヨーヨーの日」、「ローカロリーな食生活の日」、「かえるの日」などがあるとのこと。

変わった記念日が多いですが、意味はご自分で調べてみてください。

記念日ではないですが、「6月6日にUFOが～・・・」など、絵描き歌に使われていることはご存じの通りです。6の“ぞろ目”が腕を表現するのに都合がよいからですね。

私の中では、6月6日といえば「恐怖の日」です。聖書に登場する獣の数字「666」に因んだ日で、某映画の主人公「ダミアン」の誕生日です。

でも、怖くて、予告編だけ。本編の映画は見たことがありません。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿くだ

